様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９　（共通）

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

令和　７ 年　 ６ 月 ２５ 日現在

機関番号：５６２０３
研究種目：基盤研究(C)（一般）
研究期間：2022～2024
課題番号：２２Ｋ００６５４

研究課題名（和文）高専外国人留学生の適応実態調査及び修学サポート教育プログラム構築に関する実証研究

研究課題名（英文）Research on the Adaptation of International KOSEN Students and the Creation of a Supportive Educational Program

研究代表者
内田　由理子（UCHIDA, YURIKO）

香川高等専門学校・一般教育科（詫間キャンパス）・教授

研究者番号：９０２５９９４５

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　　3,200,000円

研究成果の概要（和文）：外国人留学生が直面する問題を，釧路高専、八戸高専、津山高専、香川高専における留学生ヒアリング調査を基盤に、全国国際寮調査研究も援用し、適応を阻害する要因、各種状況を明らかにするとともに，多文化教育，学習支援，進路指導，チューター教育，留学生に特化した相談体制など，留学キャリア形成のための指導・支援システムを国別教育プログラムとしてモデル確立，検証している。
特に香川高専を中心に、留学生修学支援ワークショップ、日本人チューター教育（異文化コミュニケーション理解，　ピア・サポート，イージージャパニーズトレーニング等）を蓄積し、両実践を連結させた日本語授業の教材開発を行い実践展開している。

研究成果の学術的意義や社会的意義
本研究の遂行は，グローバルエンジニア人材育成の探究，工学系留学生の発展的留学キャリア形成に寄与する実証的・実践的研究に資するものであり，高専教育への貢献度は極めて大きい。
留学キャリア達成に焦点を当てた研究として先駆的性質をもつとともに，不適応要因を多角的・多層的観点から分析し，開発教材や支援活動を教育現場に導入・展開している。
本実証的・実践的研究の成果は，留学キャリア形成の修学支援システムをモデル構築する，グローバル人材教育の展開に資するものである。

研究成果の概要（英文）：This research identifies the challenges faced by international students, drawing upon interviews conducted at Kushiro, Hachinohe, Tsuyama, and Kagawa KOSENs, and supplemented by national surveys on international dormitories. It clarifies the factors and circumstances that hinder student adaptation. Furthermore, the study establishes and evaluates country-specific educational program models designed to support international students in their career development. These models include multicultural education, academic support, career guidance, tutor training, and specialized counseling systems.
Kagawa KOSEN, in particular, plays a leading role in developing study support workshops and training programs for Japanese tutors, which include components such as intercultural communication, peer support, and Easy Japanese. The project integrates these practices to create and implement Japanese language teaching materials.

研究分野：高専教育

キーワード：留学生修学支援　高専外国人留学生　留学生適応実態調査　留学生修学支援教育プログラム

※科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様　式　Ｃ－１９，Ｆ－１９－１（共通）

１．研究開始当初の背景

留学生教育に関する研究は語学教育，特定の科目教育，研究指導に対するもので占められており，潮流といえる．しかしながら，外国人留学生全てが，希望どおりのキャリア形成を成し卒後を迎えるわけではなく，一定数は留学を中断，ドロップアウトする現況が確認できる．

このように，高等教育機関における留学生の修学継続・修学達成に焦点を当て，不適応要因・阻害要因の分析及び修学達成モデル構築を実証的に明らかに示した研究は示されてこなかった．ここに，学術的問いを指摘するものである．

２．研究の目的

本研究目的は，外国人留学生の学校生活及び留学キャリア形成を達成あるいは阻害する要因並びに留学中断・ドロップアウト状況を解析し，留学前事前教育のあり方，異文化教育，学習支援，進路指導，チューター教育，留学生に特化した相談体制など，留学キャリア形成のための指導・支援システムを国別にモデル確立し，全高専での教育展開の基盤をなすことを研究の最終目的とする．

３．研究の方法

外国人留学生を対象とした高専での学校生活の定着・活躍の成功要因，修学継続の障害・課題要因は研究蓄積されておらず，これらを探究する調査研究は数的にも質的にも類をみない．

そこで，全国工業高等専門学校（以下，高専）のスケールメリットも活用した全国高専 51 校 55 キャンパスの中から国際寮及び外国人留学生を対象とした調査を実施する．

次に，外国人留学生の社会的・文化的背景や留学生がもつ特徴を踏まえた修学継続のための教育モデルを設計する．

４．研究成果

本調査研究とともに香川高専において教育実践を行い，留学生修学支援ワークショップ年間約 40 回開催，学年や年間スケジュールにおける外国人留学生の学習・生活のつまずき，悩み，困難な状況等を把握・整理し，特に次の点が明晰できた．留学生コーディネーターの活用及び効果，日本語学習支援，異文化適応促進に向けたサポート，留学生と日本人学生とのコミュニティの形成を目指した交流の場の提供，関係部署教職員・学校保健室・学内の専門職との連携，国際寮の居住空間による国際交流の活用法，医療アクセスへのサポート及びメンタルケアサポート，生活支援の展開等である．

その有効性と教育モデルの設計，実践の効果を検討した．中でも，津山高専及び八戸高専におけるヒアリング調査からは，教員及びチューターによる関り並びに働きかけが重要な位置づけを占めることが明確となった．そのことから，チューター教育の強化，留学生支援の改善及び充実化，問題解決に向けた効果的なアプローチ法の導出に努め，ピア・サポート研究による学生間の交流の活性化に注力し，展開中である．

本研究成果の一部を以下に示す．

雑誌論文

論文名

「高専（工業高等専門学校）におけるピア・サポートの実践と今後の展開可能性」

著者

高口僚太朗，松田優一，菊地創，和田安弘，竹内麻希子，内田由理子，

雑誌

日本ピア・サポート学会第 22 回研究大会抄録集，pp30-31，2024

論文名

「外国人留学生の修学サポートー香川高専詫間キャンパスの取り組みー」

著者

河野麻弥，内田由理子，

雑誌

日本高専学会誌 Vol.28 No.1 pp9-13，2023

学会発表

研究発表名

「高専（工業高等専門学校）におけるピア・サポートの実践と今後の展開可能性」

発表者

高口僚太朗，松田優一，菊地創，和田安弘，竹内麻希子，内田由理子，

発表学会

日本ピア・サポート学会第 22 回研究大会，2024.11.3

研究発表名

「留学生の修学サポート-支援体制構築の展開-」

発表者

河野麻弥，内田由理子，

発表学会

第 29 回日本高専学会，新居浜工業高等専門学校，2023.9.1

研究発表名

「ボードゲームを活用した異文化間コミュニケーショントレーニング：教育プログラム開発に向けての試論」

発表者

河野麻弥，内田由理子，高城秀之，大西智子，

発表学会

第 28 回日本高専学会，鹿児島高等専門学校，2022.8.31

５．主な発表論文等

〔雑誌論文〕　計1件（うち査読付論文　0件／うち国際共著　0件／うちオープンアクセス　0件）

１．著者名 河野麻耶，内田由理子	４．巻 Vol.28.No.1
２．論文標題 外国人留学生の修学サポート －香川高専詫間キャンパスの取り組み－	５．発行年 2023年
３．雑誌名 日本高専学会誌	６．最初と最後の頁 9,13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

〔学会発表〕　計2件（うち招待講演　0件／うち国際学会　0件）

１．発表者名 河野麻弥，内田由理子
２．発表標題 留学生の修学サポート-支援体制構築の展開-
３．学会等名 日本高専学会
４．発表年 2023年

１．発表者名 内田由理子，河野麻耶
２．発表標題 留学生の修学サポート
３．学会等名 日本高専学会
４．発表年 2022年

〔図書〕　計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

－

６．研究組織

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究分担者	大槻　香子 (OTSUKI YOSHIKO) (20240426)	釧路工業高等専門学校・創造工学科・准教授 (50103)	

6．研究組織（つづき）

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究分担者	浦家　淳博 (URAIE ATSUHIRO) (30193957)	釧路工業高等専門学校・創造工学科・教授 (50103)	
研究分担者	舩越　高樹 (FUNAKOSHI KOJU) (40792015)	独立行政法人国立高等専門学校機構（教育研究調査室）・本部・特命准教授 (82695)	
研究分担者	阿部　恵 (ABE MEGUMI) (50342449)	徳山工業高等専門学校・校長・校長 (50101)	
研究分担者	三橋　和彦 (MITSUHASHI KAZUHIKO) (60311114)	佐世保工業高等専門学校・電気電子工学科・教授 (57301)	
研究分担者	角谷　英則 (KADOYA HIDENORI) (90342550)	津山工業高等専門学校・総合理工学科・准教授 (55301)	

7．科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計0件

8．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関